

守門岳山行報告

(山城) 越後山脈
(コース) 二分～大岳～守門岳～藤平山～二分 (周回コース)
(登山方法) 雪山登山
(日時・天候) H28年3月28日(月)～30日(水) 晴れ
(参加者) CL鈴木憲二 鈴木愛子 (記録)
(山行タイム)

3/28(月) 千葉⇒関越道⇒小出IC⇒道の駅いりひろせで車中泊

3/29(火) 道の駅いりひろせ5:20発⇒二分 登山口駐車場6:00発⇒保久礼小屋7:50→
キビタキ避難小屋8:35着 8:45発⇒大岳10:15着 10:25発⇒守門岳
12:00着 12:20発⇒藤平山⇒二分 登山口駐車場17:00着⇒日帰り温泉
神湯温泉⇒道の駅湯の谷で車中泊

3/30(水) 道の駅湯の谷6:00発⇒帰葉

(山行報告)

3/29(火) 晴れ

二分の除雪終了地点に駐車する。(駐車スペースは7台位)

固く凍った雪で埋まった道路を少し歩き、急な斜面の尾根に取り付く。トレースがあり、それを辿って登っていく。アイゼンなしでも大丈夫で付けずに歩く。しばらく樹林帯の中、小さなアップダウンを何度も繰り返す、長峰に着く。長峰からはしばらく緩やかな広い道が続く。そこはブナの木が沢山あり、新緑や黄葉の頃は綺麗だろうなと思いながら歩を進めると、保久礼小屋に着いた。更に大岳を目指して急坂を登って行くと、キビタキ避難小屋に着いた。小屋は屋根とその下、少ししか雪から出ていない。あとは、雪に埋まっていて、中には入れなかった。

更に歩を進め、樹林帯を抜けると、大岳の広い真っ白な斜面となり、山スキーのシュプールが多く見られた。越後駒ヶ岳、中の岳、八海山等他の山々が良く見え、元気をもらえた。



大岳からの越後駒ヶ岳



キビタキ避難小屋

大岳頂上着10:15。祠が雪に埋まっていて屋根だけ出ていた。360度の眺めは素晴らしかった。遠く飯豊連峰、日光白根山、安達太良山、越後駒ヶ岳等々他沢山の山々が見え感動。かねてより見たいと思っていた「東洋一と言われている守門岳の大雪庇」も見えた。3月末だからか、例年より積雪が少ない年だからか、想像していたより、雪庇の張り出しは大きくなかった。

大岳からものすごい急斜面を下り、守門岳に向かう。守門岳頂上着 12 : 10。

守門岳からの眺めも 360 度の眺めが素晴らしかった。今日は日本海や佐渡島方面は霞がかっていて見えなかったが、もっと快晴の時は見える由が、丸い案内標識に書かれてあった。それは雪に埋もれていなかった。あまりの展望の良さにもっとゆっくりしていたかったが、帰りが長丁場なので、20 分の休憩で下山し始めた。



大岳の斜面のヤマスキーヤーのシュプール



大岳から見た守門岳の雪庇

守門岳に向かって登っている時、中腹で、守門岳から下ってきた登山者 2 人のパーティーに出会った。その人達は「二分～藤平山～守門岳コース」を歩いてきた由であった。そのコースも眺めが良くて良い由、トレースもはっきりしていて、二分の駐車場に着ける由であった。

予定では、守門岳からの下りも、登りと同じ道を帰る予定であったが、その人達から聞いた状態と、天気が晴れで、予報も、その時現在の観天望気も崩れる気配はなし、という事で、下りは「藤平山コース」を取ることを、現地判断で決めた。

下りはそんなに急坂ではなく、雪もシャーベット状で、アイゼンなしで歩く。トレースありと言えども、何人も歩いてなくて、踏み固まっていなくて、ズボットと靴が沈み、歩きずらかった。何回か膝や腿まで潜ってしまい、その状態が長く続き、疲れたが、越後駒ヶ岳等々周りの山が綺麗で励まされた。

このコースは、赤テープ等の道しるべが、滅多になくて、トレースが右と左と分かれている所などあった時、GPS で現在地を確認しながら下山した。



守門岳の頂上にて



大岳の頂上の祠の屋根（屋根以外は雪の中）

藤平山など三つのピークのアップダウンを繰り返して、854 m の地点に着いたら、両側がスパッと切れた

ナイフリッジが約100m位現れ、そこでアイゼンを装着して、慎重に通過した。

そこを超えて、樹林帯の中では、雪が腐っていて、あまりにも靴が雪の中にもぐってしまい、700m位の地点で、ワカンを付けた。私は初めてのワカン歩行であった。やはり靴の沈み方が少なくすみ、「もっと早くワカンを付ければ良かったね」と夫と話しながら快適に歩いた。

もうすぐ駐車場という所で、沢コースの道に出る直前、あまりにも急坂で、そこでワカンをはずして下った。それから間もなくして、駐車場に着いた。17時着。休憩を入れて、11時間の山行で、疲れた山行であった。



守門岳から藤平山を目指しての下り



854m地点のナイフリッジ

(今回の山行を終えて)

休憩を入れて11時間という長丁場の山行で、疲れたが、雪も沢山あり、眺望も良く、アイゼンとワカンワークのトレーニングにもなり、スノーハイクを楽しめ、良い山行であった。でも、大岳までなら、また、雪のある時に行きたいと思うが、今回のような11時間もかけての周回コースは1回歩けば良いと思った。登山中、出会った人は、単独行の人と1パーティ(2人)だけで、静かな山行で良かった。

初めてワカン歩行の経験が出来、良かった。

このコースは山スキー愛好者にとって、素敵なコースだと思います。